



【令和元年9月号】

清水小学校

校長 高井正樹

親子で草取りボランティア



夏休み明け最初の日曜日に、PTA生活環境委員会の呼びかけで、清水小学校の子どもたちが毎日登下校で通るワインロードの花壇の草取りをしました。

1学期に学年ごとに子どもたちや先生たちも草取りをしましたが、夏休み中にぐんぐん成長した雑草で、花壇の花が見えなくなるほどになっていました。

当日、お休みのところ

集まってくださった保護者の皆さんと子どもたち、先生が強力に根を張った雑草と格闘し、無心で取り続けると、雑草は重機のバケツ何杯分にもなりました。



そして1時間半後、雑草畑だったところは春に植えた花たちが顔を出し、きれいな花壇に大復活することができました！（一部、雑草の生命力に負けて、花が枯れてしまったところもありましたが・・・。）

小さな子からおやじの会OBのみなさんにもご協力いただき、子どもたちの通学路は見違えるほどきれいになりました。暑い中、お手伝いいただき、本当にありがとうございました。

御影小学校

校長 清水 弘

2学期スタート! ~目標をもって取り組む~

25日間の夏休みが終わり、8月20日（火）から2学期が始まっています。夏休み中の大きな事故等の報告がなく、ほっとしているところです。夏休みの間、静まりかえっていた校舎は、再び子どもたちの元気な声で溢れています。子どもたちの夏休み中の頑張りは作品にも表れ、たくさんの創意工夫と努力の跡が見られます。

さて、2学期は年間で最も長い学期であり、今年度は88日間の予定です。(6年生は修学旅行後が休みのため、87日間の予定です。)今学期は、学習発表会や6年生の修学旅行、5年生の宿泊学習、そのほか各学年の取組もあり、たくさんの行事があります。それぞれの学習について学級や個人が**目標をもって**しっかりと取り組み、頭も心も体も更に成長してくれることを願っています。



【夏休み作品展～こども園も見学に来校】

また、現在御影小では、しみず「教育の四季」の夏(自然や人の豊かさに感謝)に合わせて、3つの「あ」のうちの「**ありがとう**」に重点をおいて取り組んでいます。日常のちょっとした事にも、お互いに「ありがとう」の気持ちを伝え合い、気持ちよく生活できるようにしていきたいと思ひます。

この2学期も、職員一同、「すべては子どもたちのために」を合言葉に力を合わせて頑張っ
てまいりますので、保護者、地域、関係者の皆様の本校に対するご支援・ご協力をお願い申
し上げます。

夏の学びのサポート教室 ～講師の先生方、ありがとうございました～



【集中して学習に取り組みました】

7月29日(月)・30日(火)、夏の学びのサポートを実施いたしました。2日間で4～6年生の延べ62名の児童が参加しました。各学年が各教室に分かれ、持参した課題や自由研究のテーマ等に取り組みました。国語辞典や地図帳を開いて、まずは自力で解決しようと努めている子もいました。わからない時には、講師の先生方からやさしくヒントをも

らい、一生懸命学習に取り組んでいました。退職教員等、講師の先生方には大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

清水中学校

特別の教科「道徳」

中学校では、学習指導要領の改正に伴い、道徳から、考え、議論する～特別の教科「道徳」に変わり授業が進められています。本校でも、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・

教頭 須藤 正博



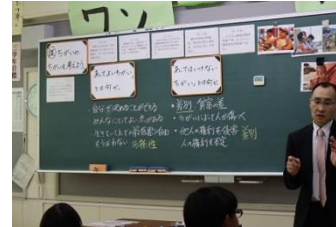


多角的に捉え人間としての生き方についての考えを深める学習が進められています。

担任の先生だけでなく、学年団の先生方もそれぞれの個性を活かした授業を行い、答えが一つでない道徳的課題を生徒一人一人が自分自身の問題と捉え、友だち同士で対話をしながら深めていく授業を展開しています。11月の授業公開週間の際は、是非とも道徳の授業もご覧下さい。

十勝社会科サークル研究授業

6日(金)、十勝社会科サークルの方々が来校し、3年B組平野教諭による公民の研究授業が行われました。当日は管内から10名近い先生方が来校し、真剣に取り組む3年B組の様子を参観されました。「人権と共生社会」という学習のなかで、様々なちがいについて、あって良いものか、あってはいけないものか、グループで協議する内容の授業でした。ここでも生徒同士が自己の考えを述べ、グループで議論する場面が多く見られました。



御影中学校

校長 塚原 雄二

緑の中での音楽に感動

～ 東京フィルハーモニー奏者が御影中でサプライズ演奏 ～

8月21日(水)に日本で最も長い歴史を持つオーケストラ「東京フィルハーモニー交響楽団」の奏者4人が御影中を訪れ、芝生のグラウンドで生演奏を披露しました。生徒は突然のプロの奏者の来校に驚きながら、素晴らしいクラシックの演奏に生で触れることになり、感動の連続を経験しました。

御影中でのサプライズ演奏は、子どもの異才・異能を育てるプログラムを実践し、清水町内関係者と交流のある東京大学先端科学技術研究センターの中邑賢龍教授が、メンバーの近藤薫さんと知り合いだったことから実現した。校舎の外の緑の葉の茂るグラウンドの



東京フィルハーモニーメンバー4人 コンサートマスター

- ・バイオリン～近藤 薫 さん
- バイオリン～戸上 真理さん
- ビオラ～白木 麻弥さん
- チェロ～渡邊 辰紀さん

片隅でクラシック音楽を演奏，次々と集まった生徒の前で高水準の弦楽四重奏を披露しました。自然の中での音楽鑑賞は初めてで気持ちのよい経験をしたようでした。奏者の近藤さんは「大地の香りや，木や動物全てのつながりを感じられるような感性を持った大人に育てて欲しい」と強く語っていました。



御影中学校での演奏曲

モーツァルト：ディヴェルティメント KV136 より第1楽章
モーツァルト：弦楽四重奏曲「狩」より第1楽章
チャイコフスキー：「雪娘」よりメロドラマ
ドヴォルザーク：カヴァティーナ
ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲「アメリカ」より第1楽章
ヘンドリッヒ：ハッピーバースデー変奏曲

清水高等学校

校長 平野道雄

よろしく ロブ先生！

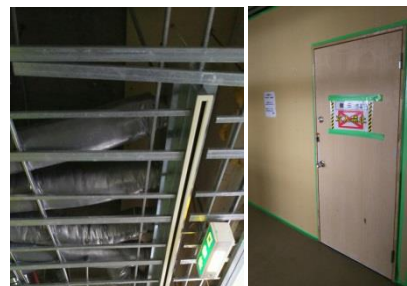
7月で本校を去ったALT ペイジ先生の後任として，ロバート・ブチャーさんが着任しました。「ロブ先生」と呼んでください。ロブ先生は，イギリスのロンドンから日本にやってきた，すらっと背の高い，スポーツが好きなナイスガイです。着任式では，練習してきた日本語で挨拶があり，この春に町の国際交流事業に参加した本校の生徒からは，英語で歓迎のスピーチがありました。町で見かけましたら，気軽に声をかけてください。ロブ先生，よろしくお願いします。



【着任式で生徒から歓迎のスピーチ】

大規模工事(第2期)が本格的に始まりました！

昨年度は外壁を中心に行われた大規模工事ですが，8月から，今年度の校舎内の工事が本格的に始まりました。30年以上経過したボイラーやトイレが新しくなります。また，理科の実験台や家庭科の調理台も新しいものに入れ替えになります。しばらくの間は，駐車場や一部のトイレなどに使用できない場所があり，不便をお掛けしますが，ご理解とご協力をお願いします。年明けには，今よりも快適に学校生活が送れるようにリニューアルされた姿を披露できるかと思えます。



【工事中の天井と使用不可のトイレ】

芸術の秋！

芸術科の音楽、美術、書道の3科目の専門の正教員が揃っている高校は、十勝管内では帯広柏葉と帯広三条、そして本校の3校です。そのほかの高校では、時間講師などで対応したり、選択できない科目があったりしている現状です。加えて、入学後に最初に学習する「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」の科目にはじまり、3年間で段階的に「Ⅱ」から「Ⅲ」が付く科目まで進んで学ぶことができるのは本校だけです。これは、総合学科として多くの科目を設けることができる利点の一つです。また、それぞれの部活動では、放課後や休日にも専門の先生から熱心な指導を受けることができます。こうした中、本校を当番校とした高文連十勝支部の音楽発表大会を皮切り



【書道展・美術展での本校の作品】

に、書道展、美術展が、秋の気配が感じられ始めた8月下旬から9月上旬、帯広市で次々に開催され、たくさんの方々に本校生徒の発表や作品が披露されました。

<お詫び>

先月の記事の中で、町内のインターンシップに協力いただいた事業所の記載に誤りがありました。お詫びして次のとおり訂正するとともに、あらためて感謝申し上げます。

インターンシップにご協力いただきました清水町内の事業所は、次のとおりです。ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

帯広日産・釧路日産自動車清水店、清水消防署、清水町図書館・郷土史料館、清水町役場、清水町立清水小学校、清水町立第一保育所、清水町立御影子ども園、清水町立御影小学校、田村建設株式会社、特別養護老人ホームせせらぎ荘、日本赤十字社清水赤十字病院、有限会社十勝スロウフード

清水幼稚園

園長 帰山 孝美

動物園に行ってきました

8月27日(火) 絶好の遠足日和の中、屋外行事のおおとりにふさわしい楽しく思い出に残るものになりました。子どもたちの中には、「てるてる坊主を作ったよ。」ととても楽しみにしていることがわかる子どももいました。保護者の皆様には宿泊行事



のようにお見送りいただきました。元気いっぱいに出発し、バスの中では先生方のゲームに盛り上がりながらわくわくドキドキ動物園に到着しました。各クラスに実習生も加え、それぞれのコースを巡り、動物たちの生態に触れ合ってきました。あざらし・ライオン・

とら・チンパンジー・さる・フラミンゴ・しろくま等々精力的に見て回りました。象の前で集合写真を基本に暑さに涼んでいる動物の前でも集合写真を撮ったクラスもありました。昼食後は子どもたち



の待ちに待った“乗り物タイム”。汽車・フラワーカップ・メリーゴーランド等1時間程度楽しむことができました。バスの中では年長さんが爆睡状態でしたが、年少さんは意外と元気で話に花がさいていました。予定通りの到着に保護者の皆様のお出迎えをいただきました。きっとご家庭でも楽しいお土産話に更に花が咲いたと思いません。2学期の屋外行事を無事に終えて職員一同ほっとした一日

でした。美味しいお弁当のご協力ありがとうございました。

なかよしタイム～異年齢で遊んでいます



本園では異年齢での活動を意図的・計画的に行っています。内容は、友達との活動や遊びを通して刺激を受けながら、楽しさや面白さを味わったり、活動に安心して取り組み、友だちとのかかわりを広げること。また、遊具遊びを通して体を動かす楽しさを感じることなどです。

8月26日(月)には天気も良く、園庭遊具を異年齢のグループで遊びました。子どもたち同士で「何をしようか?」「どんな遊び方をしようか?」と手をつないだまま相談している姿があちらこちらに見られました。この姿が子どもたちの成長にとっても必要ななかかわる力(友達がしたいことや思いを受け止める力)の醸成につながります。降園後の園庭での遊ぶ姿もどんななかかわり方をしているか等を眺めてみるのも、お子さんの成長を知る一助になると思います。



第一保育所

待っていた水遊び

7月上旬はなかなか思うような天候に恵まれずにいましたが、後半から一気に気温が上がり水遊び日和に。嬉しすぎて着替えている時から興奮状態の子ども達。待っていたとばかりに水を全身に浴び、とても気持ちよさそうに遊んでいました。ペットボトルに色水を入れてジュース屋さんをしている子や、土に水をかけ気付けば泥だらけになる子もいて夏ならではの水遊びを楽しんでいました。水遊びは沢山の子も達を笑顔にしてくれました。



(保育士 及 川 かおり)

芋拾い楽しかったね♪

心を込めて育てたジャガイモが大きくなり、ついに8月27日に収穫しました～!!2種類の品種を植えたので、普通の色ジャガイモと赤色っぽい色のジャガイモがあり、子ども達は宝探しをしているように目をキラキラさせて拾っていましたよ。たくさん取れたので、年長のお友達は2個ずつ家に持って帰りました。「ポテトチップスにして食べたよ♪」「フライドポテトにして食べたよ♪」と、とびっきりの笑顔で教えてくれました。中には、まだ食べずに大事にとってある子もいましたよ。可愛いですね♪小さいジャガイモは野菜スタンプにし、製作を楽しむ予定です!!



大きくなったよ !!

「ひまわりの絆プロジェクト」をご存知ですか?平成23年に4歳の男の子が交通事故で亡くなりました。その男の子が生きている時に育てたひまわりの種を「皆さんが交通事故に遭わないように」「命の大切さを知ってもらいたい」という願いを込めて植えています。(種は新得警察署より分けていただきました)すくすく成長し今ではこんなに大きくなっていますよ!!まだ綺麗な花を咲かせていないので、「早く咲かないかな～♪」と心待ちにしています。そして種を取り、来年以降も植え続けていこうと思っています。

(保育士 森山浩詩)

第二保育所

おいもほり

今年で最後の畑作りになったそう組の子ども達!
いろいろ悩んだ結果、今年はじゃがいもを植える事にしました。

春先から、あまり天気恵まれず長雨が続いた効果、雑草と一緒に大きくなっていった感じのじゃがいもでしたが、7月の暑い毎日のおかげで、ぐんぐんと成長し紫色のきれいな花も咲き始めました。

“じゃがいもってきれいなおはなだね” “おいも、どこにあるかなー?” 毎日の水遊びの時に、一緒に水をかけたりしながら、大きくなる様子を眺めていました。

そして8月!!葉っぱも枯れてきたのでじゃがいもを掘ってみる事にしました。最初、引っぱった茎には小さなおいもがコロコロとついていただけでしたが…スコップで掘ってみるとゴロゴロと大きいじゃがいもがたくさん!! “やったー あったよー” “こっちにもこんなにおおきいの” “あっちにもまだあるかもしれないね” などと口々に話しながら 夢中になって掘り続けていたそう組の子ども達。



隣に植えていた人参も取りながら手を真っ黒にしてじゃがいもを掘り終わりました。袋にたくさんじゃがいもを入れるぞう組さん達、大満足の日でした

(保育士 鈴木 由美)

お友だちできたかな？



8月30日に新しい保育所に向けて、第一保育所と第二保育所の3・4歳児の交流会が行われました。

自己紹介から始まり、自由遊びやゲームをして過ごしました。最初はお互いに緊張気味でしたが、次第に会話が弾み最後には笑顔いっぱいの交流会になりました。

「また遊ぼうね！」と約束をして、第一回目の交流会は終了しました。今後も交流をして来年から一緒に仲良く楽しく遊ぼうね！！

ドーナツ
ゲーム中



(保育士 堀 敦子)

御影保育所

暑い日はみずあそび！！

7月はあいにくな天気が続き、いつになったら水遊びができるのかなと外を眺める子ども達……。すると7月の下旬に、とっても天気のよい暑い日がやってきました。朝から水遊びの準備を始め、「やっと暑くなった～！水遊びできる～！」と子どもたちは大喜びです。園の前では水鉄砲で水を掛け合い遊んだり、色水を作って遊んだり、また、御影公園の噴水に行き遊びの日もありました。3歳以上児は、ゆびえのぐを使ってフィンガーペインティングにも挑戦。完成した絵を見て満足そうな子ども達です。

最後の水遊びの日には、園長先生が楽しい遊びを用意してくれました。園の土手にブルーシートを敷き、上からホースで水をどンドン流した、ウォーターライダーです！それをみた子ども達は大喜び。全身濡れてもお構いなし。たくさん滑ってダイナミックに遊びとても気持ちよさそうな表情でした。その土手の下では泥んこ遊びも行いました。毎日の水遊びも工夫で「また遊びたい！」と思えるような楽しい遊びになりました。あんなに暑かった日も過ぎてしまうとちょっぴり寂しいですが、また楽しく遊べる日を楽しみにしたいと思います。

す！



☆ 楽しかった夏まつり ☆

8月9日はこども園の夏まつりがありました。各クラスで短冊に願い事を描き、七夕かざりを作りました。ひまわり組では自分で短冊に願い事を描き、さすが大きいクラスです！また、七夕の歌を口ずさんでいる子や今年はどうな夜店があるのか楽しみに話している子、おばけ屋敷におびえている子などもいて、それぞれ当日を楽しみにしているようでした。ゆり組では、自分達で保育室におばけ屋敷を作って遊んでいました。

そして迎えた当日。残念なことに雨が降っていたので室内での開催になりました。しかし朝から園内の笹にみんなの短冊を飾りつけたり、玄関前に七夕かざりを飾ったりと雰囲気を作り子ども達も嬉しそうです。自分たちの短冊や飾りを見つけて「短冊あった〜」「きれいだね〜」と喜んでいる姿もみられました。夜はいつもと違って浴衣や甚平を着て集まりニコニコです。先生方の出し物を見た後は親子や友達同士で夜店を回り、スタンプラリーを楽しんでいました。ヨーヨーやおやつ、綿あめのお土産をもらい満足そうな子ども達でした！夜は雨も上がり、花火を見ることが出来て楽しい夏まつりとなりました！

(保育士 中村 明里)

教育委員会

整然とした姿

第55回御影地区小中学校「作文朗読・意見発表大会」が9月9日に御影中学校を会場に行われました。選ばれた子どもたちの発表は、もちろん素晴らしい内容、発表でしたが、それを聴く姿がしっかりしており、子どもの姿に映し出された日ごろからの行き届いた指導を垣間見る思いでした。

家庭を基本に、学校や地域が関わり合いながら、一緒に子どもを育てていこうとする姿勢が、素敵な子どもを育てていくのだと思います。実践指標“しみず「教育の四季」”12の窓に今年CS委員さんが、心を寄せ守り育てる言葉を考えてくだ



さいました。参考にさせていただき心を染める秋色の中で、感性みずみずしい子どもたちに関わり合いながら見守っていただければと思います。

しみず「教育の四季」

第2回コミュニティ・スクール委員会の開催(お知らせ)

今年度は地域総がかりで子どもたちを育む体制をつくるため、これまで取り組んできた“しみず「教育の四季」”をさらに推進するかたちで、4月にコミュニティ・スクールがスタートしました。5月には、清水と御影の2ブロックに分かれて委員会が開催され、各学校等の経営方針が説明され全体で承認しました。10月下旬には第2回委員会を各ブロックで開催し、経営の途中経過、各学校で行われた評価アンケート（生徒、保護者、教員）の報告を中心に開催する予定です。



しみず教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

秋～心を染める色の中で 感性みずみずしく

<家庭・学校・地域今月の取組>

学校は、朝の読書で

心を落ち着かせ

家庭は、夕べの読書で

心の安定を！

地域は、図書館で

心ときめく本との出会い